



二瀬通信

飯塚市立二瀬中学校

令和5年1月31日

文責 北川 清徳



今と未来をつなぐ二瀬中

新しい年に新しいリーダー始動

新生徒会役員が決まりました

「おはようございます!」。凍てつく冬の朝、生徒昇降口に元気な挨拶の声が響いています。本校では毎朝生徒会役員が中心となってあいさつ運動を行っています。3学期からは先輩からバトンを受けとった新しい生徒会役員が登校してくる仲間たちに声を掛けています。今年も新型コロナウイルス対策による様々な制限が解除され、生徒たちのアイデアを取り入れた新しい学校行事や取り組みが生まれることでしょうか。新生徒会役員の活躍により、今よりもっと天晴れな二瀬中学校になることを期待しています。新生徒会役員を紹介します。

生徒会長	河村秋生 (こうむらしゅう) さん	3年副会長	崎山依吹 (さきやまいぶき) さん
2年副会長	貝原菜心 (かいばらななみ) さん	3年書記	坂田心愛 (さかだみあ) さん
2年書記	衛藤璃桜 (えとうりおん) さん	学習委員長	高井希菜 (たかいきな) さん
生活委員長	永山晴暉 (ながやまはるき) さん	体育委員長	早野詢 (はやのしゅん) さん
図書・文芸委員長	松岡絆吏 (まつおかばんり) さん	環境委員長	森駿成 (もりしゅんせい) さん
給食委員長	近藤芽依 (こんどうめい) さん		皆さん がんばってください!!

2月の主な行事予定

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1日(水) 校内安全点検の日
ファイナンスパーク:1年1組
3年生給食なし | 16日(木) ノー部活デー・定時退校日
3年生給食なし |
| 2日(木) ノー部活デー・定時退校日 | 17日(金) バススポーツ講義・体験:2年生
3年生給食なし |
| 7日(火) ~14日(火)
部活動講義休み | 20日(月) 学校安全の日
あいさつ通り
3年生チャレンジ学習 |
| 8日(水) 3年生チャレンジ学習 | 21日(火) PTA 委員総会・各種委員会 |
| 11日(土) 福岡県新人大会: 駅伝 | 22日(水) 親子で学ぶ規範意識講義:2年生 |
| 14日(火) 期末考査1日目
2年生進路保護者会 | 24日(金) 環境学習:1年生
(シイタケ菌打ち体験) |
| 15日(水) 期末考査2日目 | |

※3月の主な行事予定は二瀬中学校ホームページをご覧ください。

〈選挙活動中の河村会長〉



〈あいさつ運動をする生徒会役員〉



学校評価の結果を公表します

2学期の終わりに実施しました、教頭による学校の自己評価の結果を以下に公表します。保護者と生徒にとってアンケート結果も併せて載せておりますので参考にしてください。今回の自己評価と2月に実施する学校関係者評価を受け、学校運営の改善を進めていきます。

【数値の見方】 ・評価は、4段階評価で行い、平均値を載せています。
(4:あてはまる 3:おおむねあてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない 1:あてはまらない)
・平均値が、2.8以上で「概ね満足できる状態」と捉えています。

番	領域	評価項目	教員評価	保護者評価	生徒評価
1	学力向上	授業改善(分かる・考える授業)	3.4	3.1	3.6
2		授業改善(ICT活用)	3.6	3.2	3.7
3		学習の振り返りと改善	3.2	2.7	3.0
4		家庭学習の充実	2.7	2.7	2.7
5	人権尊重・生徒指導	一人一人が大切にされる学校	3.6	3.1	3.5
6		楽しく安心できる学校	3.5	3.4	3.7
7		思いやりと多様性の尊重	3.2	3.4	3.6
8		規範意識の育成	3.3	3.4	3.5
9		意欲・向上心の育成	3.4	3.2	3.2
10		自律性・自主性の育成	3.4	3.2	3.3
11		教育相談の充実	3.3	3.2	3.6
12	健康・安全教育	健康・安全の保障	3.3	3.3	3.6
13	キャリア教育	キャリア教育の推進	3.0	3.1	3.2
14	地域連携	地域連携・外部人材の活用	2.6	3.2	3.0
15	情報発信・共通理解	学校からの情報発信	3.3	3.1	
16		家庭との連携	3.3	3.2	
17	学校運営・小中一貫など	教育目標の浸透	3.1	3.2	
18		取組の着実な実施	3.2		
19		役割の明確化	3.2		
20		実施ルートの明確化	3.2		
21		不登校対応	2.6		
22		小中一貫教育の推進	2.7		

〈分析〉

- 「学力向上」では、「家庭学習の充実」が、教員・保護者・生徒ともに「2.7」と低く、最も改善が必要な項目となっています。ICT活用において、教員・生徒の評価が高くなっています。学習の振り返りと改善では、教員評価と保護者評価の間に開きが見られます。
- 「人権尊重・生徒指導」では、「思いやりと多様性の尊重」などのいくつかの項目で教員評価よりも生徒評価が高いという傾向が見られます。「一人一人が大切にされる学校」の項目においては、教員評価と保護者評価との間に開きが見られます。
- 「キャリア教育」については、中学校の3年間(あるいは小・中の9年間)を見通した、より系統的な学習内容を再構成していく必要があります(教員の文章評価から)。
- 「地域連携」では、教員評価が「2.6」と低くなっています。これは、各教員が、地域連携や外部人材の活用を、学校総体の取組として統一的に捉え切れていない面もあると考えられます。
- 「情報発信・共通理解」では、学校での学習の様子を保護者が実際に参観するという情報発信も行う必要があると考えます。
- 「学校運営・小中一貫など」では、「不登校対応」と「小中一貫教育の推進」の評価が低くなっています。「不登校対応」では、担任の負担が大きく、より組織的な対応が必要です。小中一貫においては、コロナ禍の影響も見られますが、小中の人的交流を進めていく必要があります。